

警察本部		(予 算 額)	(決 算 額)	
I	警察本部費			
1	情報管理業務事業	454,292	446,556	運転者の管理や捜査活動を支援するコンピュータ関係機器の運用及び維持管理を行った。
II	警察施設費			
1	地域警察活動拠点整備事業	101,376	101,376	交番（1箇所）、駐在所（1箇所）の新築工事等を行った。
2	警察施設耐震改修事業	134,106	133,646	耐震性の低い待機宿舎の建て替えに係る新築工事等を行った。
3	警察学校庁舎新築事業	310,866	648	警察学校の新築移転に向け、土地の鑑定等を行った。
			〔 翌年度繰越額 〕 310,000	
III	運転免許費			
1	運転免許事業	703,291	696,883	運転免許試験の実施、運転免許証の作成・交付を行うとともに、交通事故防止を推進するための各種講習を行った。
IV	警察活動費			
1	警察装備事業	474,351	457,205	警察活動の基盤となる警察官用被服、公務用車両等の更新及び維持管理を行った。
2	一般犯罪捜査活動事業	694,162	688,053	殺人、窃盗等刑法犯の捜査活動及び犯罪鑑識等科学捜査活動の充実を図った。
3	組織犯罪捜査活動事業	99,857	95,385	来日外国人犯罪、暴力団犯罪等組織犯罪事件捜査活動の充実を図った。
4	生活安全活動事業	123,189	113,327	子供・女性の安全確保や特殊詐欺被害防止等の犯罪抑止に向けた啓発活動及びサイバー犯罪等生活関連事件捜査活動の充実を図った。
5	地域警察活動事業	362,965	337,861	地域住民の安全と平穏を守るため、通信指令システムの維持管理及び交番・駐在所の活動の充実を図った。
6	交通警察活動事業	193,250	175,121	交通事故を防止するための交通安全教育活動や、道路交通の安全を確保するための交通指導取締りの充実を図った。
7	交通安全施設整備事業	660,006	583,516	交通管制センターの整備、交通信号機の新設・改良及び道路標識・標示等交通安全施設の整備を実施し、交通の安全と円滑化を図った。
			〔 翌年度繰越額 〕 73,938	
8	交通安全施設維持管理事業	453,124	445,266	交通管制センター設備及び交通信号機等の交通安全施設の維持管理を行い、交通の安全と円滑化を図った。
9	犯罪被害者支援事業	4,786	4,326	犯罪被害者等の精神的被害の軽減、捜査過程における二次的被害の防止・軽減、再被害

10	放置駐車対策事業	66,394	64,791	防止等の支援を行った。 放置駐車違反管理システムの維持管理及び放置車両確認業務の民間委託等を行い、交通の円滑化と交通事故防止を図った。
11	鑑定基盤の確保事業	26,326	26,326	刑法犯の検挙率向上に有効なDNA型鑑定の消耗品の整備を行った。
12	総合的なサイバーセキュリティ対策の強化事業	73,243	33,375	サイバー空間における安全・安心を確保するためのサイバー人材の育成及び解析体制の強化を行った。
			〔翌年度繰越額〕 34,068	
13	AI技術を活用した映像解析システム事業	66,630	66,630	AI映像解析ソフト等を用い、迅速的確に防犯カメラ映像の収集、解析を行うことができるシステムの運用を行った。
14	大規模災害時における災害対処能力の強化事業	50,027	49,909	大規模災害時における迅速な被害状況の把握と円滑な救助活動の強化を行った。
15	犯罪の徹底検挙に向けた警察力の強化事業	2,962	2,957	薬物事犯に迅速的確に対応し、犯罪を早期検挙するための鑑定機器の整備を行った。
16	横断歩道利用者の安全確保対策の強化事業	55,466	55,466	横断歩道利用者の安全確保のため、摩耗している横断歩道標示の補修を行った。
(前年度繰越分)				
1	交通安全施設整備事業	72,969	63,074	電線類地中化整備や交通信号機の新設整備等を実施し、交通の安全と円滑化を図った。